



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 ダイアモンド電機株式会社
コード番号 6895 URL <http://www.diaelec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池永 重彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長

(氏名) 安藤 武始

TEL 06-6302-8141

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,129	5.5	△548	—	△691	—	△554	—
24年3月期第2四半期	19,079	5.7	371	△24.8	243	△35.4	112	△61.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △673百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
25年3月期第2四半期	△61.43	—	
24年3月期第2四半期	12.46	—	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	25,363	5,559	21.7	611.56
24年3月期	25,331	6,281	24.6	692.06

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,516百万円 24年3月期 6,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,264	△4.3	340	△54.1	168	△75.1	100	△78.3	11.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】2ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,149,400 株	24年3月期	9,149,400 株
25年3月期2Q	129,602 株	24年3月期	129,403 株
25年3月期2Q	9,019,887 株	24年3月期2Q	9,022,836 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)個別業績の概要

1. 平成 25 年3月期第2四半期の個別業績(平成 24 年4月1日～平成 24 年9月 30 日)

個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年3月期第2四半期	12,363	△1.5	△506	—	△580	—	△397	—
24 年3月期第2四半期	12,551	△6.9	284	27.1	167	48.3	103	105.2

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果により緩やかな回復傾向で推移いたしました。海外では欧州経済の低迷、中国・インド等を中心とした新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化等から厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では、技術部門の統合及び再配置等を含めた新事業及び新製品開発の強化に取り組んでおり、研究開発費負担が増加いたしました。また、国内で導入したERP（統合基幹業務システム）への対応費用が発生したこと、新規品立ち上げに伴う製造経費の増加等、利益面で大きな影響が生じました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、201億29百万円（前年同期比5.5%増）、営業損失は5億48百万円（前年同期は営業利益3億71百万円）、円高に伴う為替差損の発生により経常損失は6億91百万円（前年同期は経常利益2億43百万円）、四半期純損失は5億54百万円（前年同期は四半期純利益1億12百万円）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

① 自動車機器事業

自動車機器事業は、海外拠点を中心に好調を持続したため、売上高139億27百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面では、国内でERP対応費用の発生、新規品立ち上げに伴う製造経費の増加、技術部門の再配置に伴う費用の発生及び研究開発費増、北米では予想を上回る受注増に対応するための経費増、タイの新工場本格稼働に向けた費用の発生等により、セグメント損失は63百万円（前年同期はセグメント利益5億53百万円）となりました。

② 電子機器事業

電子機器事業の主力商品である冷暖房用制御機器については、中国での売上げ増があったものの国内販売が減少したため、売上高は62億1百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面ではERP対応費用の発生、研究開発費の増加等により、セグメント利益は2億61百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、原材料等のたな卸資産の増加8億31百万円、現金及び預金の減少7億54百万円、受取手形及び売掛金の減少4億86百万円、その他流動資産（未収入金等）の増加4億55百万円、投資有価証券の減少1億22百万円等により、前連結会計年度末比31百万円増加し、253億63百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加9億56百万円、短期借入金の増加14億72百万円、賞与引当金の減少3億12百万円、長期借入金の減少7億51百万円等により、前連結会計年度末比7億53百万円増加し、198億3百万円となりました。純資産は利益剰余金の減少5億99百万円等により55億59百万円となり、自己資本比率は21.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細は本日発表の「平成25年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異、通期業績予想の修正、ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、Diamond Electric Korea Co.,Ltd.（韓国）は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,561,337	2,807,059
受取手形及び売掛金	6,705,204	6,218,756
商品及び製品	876,310	1,120,577
仕掛品	252,182	420,573
原材料及び貯蔵品	1,407,166	1,825,570
その他	1,128,912	1,584,072
貸倒引当金	△11,604	△10,822
流動資産合計	13,919,509	13,965,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,515,521	2,453,918
機械装置及び運搬具（純額）	3,508,853	3,591,928
土地	2,278,839	2,272,365
建設仮勘定	856,239	769,067
その他（純額）	488,065	566,714
有形固定資産合計	9,647,520	9,653,994
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	839,311	717,261
その他	607,155	643,071
貸倒引当金	△2,250	△2,250
投資その他の資産合計	1,444,217	1,358,082
固定資産合計	11,412,313	11,397,254
資産合計	25,331,822	25,363,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,797,982	8,754,800
短期借入金	1,625,690	3,098,165
1年内返済予定の長期借入金	1,192,403	1,144,875
未払金	2,864,315	2,280,272
未払法人税等	201,441	59,838
賞与引当金	624,721	312,302
リース資産減損勘定	12,156	3,039
その他	690,685	514,266
流動負債合計	15,009,396	16,167,561
固定負債		
長期借入金	2,659,760	1,908,638
退職給付引当金	815,794	793,838
役員退職慰労引当金	241,025	231,475
その他	324,041	702,273
固定負債合計	4,040,621	3,636,226
負債合計	19,050,018	19,803,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	3,882,941	3,882,941
利益剰余金	1,360,927	761,174
自己株式	△60,565	△60,630
株主資本合計	7,373,302	6,773,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,614	101,999
繰延ヘッジ損益	△5,895	72
為替換算調整勘定	△1,308,624	△1,359,385
その他の包括利益累計額合計	△1,130,905	△1,257,313
少数株主持分	39,407	43,083
純資産合計	6,281,804	5,559,255
負債純資産合計	25,331,822	25,363,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,079,562	20,129,536
売上原価	15,914,666	16,956,583
売上総利益	3,164,896	3,172,952
販売費及び一般管理費	2,793,856	3,721,452
営業利益又は営業損失(△)	371,039	△548,500
営業外収益		
受取利息	5,269	4,261
受取配当金	8,106	9,041
補助金収入	7,089	8,257
その他	30,407	35,281
営業外収益合計	50,872	56,842
営業外費用		
支払利息	51,160	53,061
手形売却損	1,692	914
為替差損	121,434	138,829
その他	4,502	7,380
営業外費用合計	178,790	200,186
経常利益又は経常損失(△)	243,122	△691,844
特別利益		
固定資産売却益	729	5,785
特別利益合計	729	5,785
特別損失		
固定資産売却損	129	157
固定資産除却損	9,349	628
投資有価証券評価損	—	3,081
特別損失合計	9,478	3,866
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	234,372	△689,925
法人税等	111,430	△140,708
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	122,941	△549,216
少数株主利益	10,528	4,919
四半期純利益又は四半期純損失(△)	112,412	△554,136

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	122,941	△549,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,544	△81,614
繰延ヘッジ損益	3,047	5,968
為替換算調整勘定	△175,161	△48,760
その他の包括利益合計	△83,568	△124,406
四半期包括利益	39,373	△673,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,833	△678,543
少数株主に係る四半期包括利益	10,539	4,919

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車機器事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,764,086	6,315,476	19,079,562	—	19,079,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,764,086	6,315,476	19,079,562	—	19,079,562
セグメント利益	553,525	398,549	952,075	(581,035)	371,039

(注) 1. セグメント利益調整額581,035千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用581,035千円です。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車機器事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,927,865	6,201,671	20,129,536	—	20,129,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,927,865	6,201,671	20,129,536	—	20,129,536
セグメント利益	△63,874	261,420	197,546	(746,046)	△548,500

(注) 1. セグメント利益調整額746,046千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用746,046千円です。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(財務制限条項について)

取引銀行4行とシンジケーション方式による短期コミットメントライン契約を締結しておりますが、当該契約には以下の財務制限条項が付されており、これに抵触した場合、借入先の要求に基づき、借入金を一括返済することがあります。

- ① 各事業年度末日及び第3四半期会計(累計)期間の末日における連結及び単体の損益計算書に記載される営業損益を損失としないこと。
- ② 各事業年度末日及び第2四半期会計期間の末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、平成24年3月期末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、又は直前の各事業年度末日及び第2四半期会計期間の末日における連結及び単体の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高い方の金額以上に維持すること。